

## 令和6年度第1回健康うらやす21推進検討委員会議事録

1 **開催日時** 令和6年5月20日(月) 午後1時40分～午後2時55分

2 **開催場所** 健康センター 第2会議室

3 **出席者**

(委員)

櫻井委員長、高橋副委員長、岡崎委員、畑中委員、蛭名委員、岩井委員、  
鳩岡委員、佐々木委員、山田委員、寺島委員、牧野委員、斎藤委員、  
今村委員、黒尾委員、馬場委員

(事務局) 健康こども部 山崎部長、宇田川次長

健康増進課 梅澤課長、加納課長補佐、島崎、往古、青木、  
三宅、鈴木、安里

母子保健課 阿部課長、手島課長補佐、阿部、鈴木、岩佐、  
徳留、飯盛

4 **議題**

(1) 健康うらやす21の概要について

(2) 市民意識調査の実施結果について

5 **議事の概要**

(1) 健康うらやす21の概要について

(2) 市民意識調査の実施結果について

①健康増進(食育・歯を含む)

②自殺予防対策(休養・睡眠を含む)

③母子保健(妊娠・出産・乳幼児から思春期まで)

6 **会議経過**

事務局から資料に基づく説明後、各委員からの意見は次のとおり。

(委員長) この議題についてご質問、ご意見などありましたら挙手をお願いします。

(委員) 12歳児のう蝕有病者が増えているということでしたが、だいたいどの程度増えているか数字が分かっているのでしょうか。またう蝕の程度まで把握しているのか、あと口腔内に1本虫歯があっても1とカウントして、たくさんあっても1とカウントするという認識で良いのでしょうか。回答は次回でも良いです。

(事務局) 分かる項目もありますが、すぐ回答できないものもあるので次回まとめて回答させていただきます。

(委員長) その他にありますか。

(委員) 自殺対策計画のところで、やはりゲートキーパーと言いまして、学校とかいろんな所で隣にいる人が気づいてあげて声をかけるということが自殺対策に非常に有効であるというふうに思っています。色々なところに行ってゲートキーパーの養成研修とか講座を進めていますが、知っているという人たちが半減してしまったということが非常に残念で、ゲートキーパーの養成は力を入れてやっていますか。

(事務局) こちらについて、つなぐつながる会の会員になっていただいた支援者向けにゲートキーパー養成講座や、支援をつなぐ人向けの講座を毎年計画実施しているところではありますが、このような結果になっていますので、第3次に向けて考えていかなければいけない内容だと思っています。

(委員) ありがとうございます。引き続きよろしくお願いします。

(委員長) その他にございませんか。

(委員) ちょっと素朴な疑問になってしまうかと思うんですけど、身長体重とかBMIとかあると思うんですけど、こういうデータもアンケートの結果になっているのでしょうか。こういうデータって、私システム会社に勤めているのですけれど、データ連携すればアンケート取らなくても普通に計算できるのではないかなと思うんですけど、その辺って法律上難しいものはたくさんあると思うんですけど、改善余地があるのか、そもそも法が改善されないといけないということなのかどうでしょうか。

(事務局) 健康増進課は、75歳以上を対象としている後期高齢者健康診査や、40歳～74歳を対象としている特定健康診査の被保険者の方々が受けている健診結果を把握しています。市全体の状況を把握するのは難しい状況であり、このアンケートの結果から読み取るかたちとなります。

(委員長) よろしいでしょうか。その他にありますか。

(委員) 先ほどのゲートキーパーの話にもありましたが、その次の質問で「周囲の人はお互いに助け合って生きている」と思う人の割合で、2018年から2023年の割合として30%落ちていて、結構大きいなと思っているんですけども、この原因というのは何か分析されていたりするのでしょうか。もしされていたら教えてください。

(事務局) 分析はこれからになりますが、社会全体としてはコロナ禍で個人活動が多くなる中で、人とのつながりが薄れてきてしまっ

いる時期にきていると思います。今後は人と人をつなぐ支援策をより考えていく必要があるのではないかと考えています。また詳しい対策については、今後計画を立てていく中でつめていこうと考えております。

(委員長) その他には何かありますか。私は食のところで、一人でご飯食べるのが何がダメなのか、とか実は思いました。というのは高齢者が増えて、どうしても一人暮らしをする人が増えて、浦安市は明らかに世帯数が多くなっているのです、そういう方が増えていたら仕方がないなと思います。

あと浦安市で農林・漁業体験は難しいかなと思います。確かに大事だとは思いますが、今はもう農業も非常に体系が変わってきていて、新しい在り方の話もある中で、ティピカルな感じの農林業ではなくてもいいのではないかと、それは今後のあり方であろうと思います。食育はすごく大事なと思いますが、社会のつながりがこんなに減っているとは、と思いました。しかしリモートワークが進んでいて、会社に来ない、そうなったらお互い様という感覚はないだろうなと思います。ただ会社とかではないつながりをということであれば、もしかしたらもうちょっとと思うかもしれません。社会全体があんなに戦争が多くなったりするとちょっと感覚が違ってきていて、難しい時代になってきたのかもしれないなと思いました。それはたぶんすごく難しいです。読ませてもらって思ったのは、各年代によって同じことを聞いていて、それを統合して作っていると思うのですが、そうなった時に、横断的にひとつの共通した項目がどういう風になっているのかという見せ方をしてもらおうと、時代が違っても年代が違ってもそういう風に見えるのかもしれないので、その乳幼児期妊娠期みたいな思春期みたいな形で書いていますが、全体を通して浦安市のこの在り方、浦安市の特徴みたいな健康の特性があると思います。例えば先ほど出生率を挙げていましたけど、合計特殊出生率が低く危機的だと思いますが、出生数は同程度ということは、若いお母様がいらっしゃる、でも産むのは一人ということになると思います。じゃあ合計特殊出生率を増やすのが大事なのか出生数を増やすのが大事なのか、どこに重きを置くのかわからないんです。浦安市の特徴なんじゃないかなと思うと、その特性があるのかなと思いつつ、どこまで読み込めるかというのは難しいなと思います。どうい

う風に市民の方が納得しながら健康づくりをそれぞれやっていくか、例えば歯も歯医者さん含めてやらなければいけない健康づくりがあります。歯はとても大事です。あと海岸沿いに住んでる人は歩く環境が整っていると書いてありますが、当代島とか、いわゆる元町近くは公園は少ないのでしょうか。

(委員) 少ないですね。浦安公園にあたいするような元町地区にはひとつもないですし、市川市の広尾の防災公園とかに行かない限りはありませんから、境川沿いを歩く程度です。頑張って中川沿い、堀江ドックの方に向かって歩きます。そういうことを考えると、こちらのウォーキングレーンとか用意されている新町の方に比べれば物理的に無理というのはあると思います。

(委員長) 土地がないということですね。

(委員) そうです。現実的な話しです。

(委員長) 市川へ行くんですね。

(委員) そうです。堤防沿いをずっと市川の島尻の方まで行って戻ってくるとか、ディズニーの方まで歩いて戻ってくるとか。それがウォーキングコースです。

(委員長) 土地がなかなかないということですね。それは仕方ないですね。だからといって運動しないってこととイコールになるわけでもないでしょうから、どういう風に仕掛けを作っていくかということも大事なかもしれないなってすごく思います。浦安市がきっとそういう色んなことをおやりになっているんだろうというふうに思うんですけど、どこまで市民の方に周知されて、参加できるような状況になっているかっていうのも難しいとは思っています。ぜひ次に期待したいことだろうとは思いますが。皆さん、何かもっと他にも意見や質問があったらお願いします。

(委員) ここに来ていらっしゃる方の個別の分野の意見だとか知識を持っている方が多い中で、私たち子育て世代にしてみると、高齢者の抱える問題だとか、そういったことに対して知識がないということがありますし、他の委員の先生もおっしゃっていたように、子供の歯は分かりますけど、大人になると歯医者にもなかなか行かないとなると思うので、ある程度部分に分けてご報告をしていただくと、ここにいらっしゃる方もお声はあげやすいと思います。上から下まで浦安市全体を見なきゃいけないことは事実だとは思いますが、校長先生と話しをしていて、子供たちの

食育と高齢者の食育はまた違って、もう少し分けたお話を  
いただけて、意見を求められるような機会があると非常にあり  
がたいなと思います。

(委員長) もうちょっと詳しくという感じでしょうか。

(委員) そうですね。自殺のことに対して 30 分話しましょうねって  
いう方法の方が、来ていただいた方の意見を吸い上げやすくなる  
のかなと思います。

(委員長) そうですね。次の時に、全部を話して全部やると時間が全然足  
りない感じがします。工夫していただくということですね。他に  
ご意見はございませんか

(委員) 先ほど他の方も分析されていればって言ってましたけど、確か  
に良くなったものはいいと思うんですけど、D 評価とか達成で  
きなかったものに対して、どういうふうに分析するかによって、  
次のアクション、仕掛けが変わってくると思うので、その辺も市  
としてこういうことを考えてるっていう方向性が見えると嬉しい  
なと思いました。

(委員長) 貴重な意見ありがとうございます。どう分析するかというのは  
とても難しいと思いますけれども、色々と駆使してやっていた  
だけたらと思います。これから高齢者の方の健康も大事ですし、  
あと 20 代の方とか、死にたいと思ってるんだと思うと、なんか  
悲しい気持ちになります。でもきっとそういうムードがあると思  
います。あと、子供たちの中にも少なからず、心の中で思っ  
てるわけです。確かに 70 代 80 代とかの人が少ないというのは、  
どうか分からないです。生きて来られてる人ですから、このぐら  
いの人になると、もうあとは死にたくないっていう気持ちの方  
が強くなってくるようで、年をとるほどそう思うみたいな気が  
します。ぜひとも次の会議の話で、そこも含めて丁寧に説明をさ  
れてもらおうと、私たち委員も意見が言いやすいこともあると思  
います。それでは以上をもちまして、令和 6 年度第 1 回の推進  
検討委員会を終了させていただきます。